



学校通信第11号

# 鬼中だより

平成27年9月10日（木）

藤岡市立鬼石中学校

発行 佐藤 裕彦

0274-52-2750

ホームページ

## 特集 2学期スタート！ その前に「こんな夏休みでした」

8月31日から学校生活が再開されました。生徒の休み中の頑張りを紹介します。



先生に言われた通り、英語を中心に問題集を2回やったり、分からない箇所を見つけて何回もやりました。その結果、夏休み明けテストはいつもよりできたように感じました。これからも苦手な教科から逃げないで、納得のいく結果にするために普段の授業から一生懸命に取り組んでいきます。



僕はこの夏休みは今までにないくらいに勉強したと思います。勉強の合宿にも参加し、自分の苦手な教科を少しでも克服しようと努力しました。このようにたくさん勉強したことにより、長い時間勉強する習慣が身につきました。2学期も志望校合格に向けて、引き続き頑張っていきます。



部活にはしっかり取り組めたが、ゲーム・TV・遊びの時間が長く、宿題も計画的に終わらせられず、反省することがとても多かった。今後は、もう少し2年という自覚をもって生活したい。チャレンジウィークのことはしっかり考えることができ、本番でもよいチャレンジウィークにしたい。



小学校の夏休みと違ってしたのは部活だった。部活と宿題との両立が少し難しく、提出日までに1つ宿題が終わらなかった。これからは、計画的にやりたい。生活面では少しだらけてしまったが、ルールをきちんと守って行動し、事故にあわなかった点はすごく良かった。



中学生初の夏休みはワークを早く仕上げたので良かったのですが、ポスターと自由研究を残して大変な思いをしまい、反省しています。実力テストは少し勉強不足で、結果は落ちているかもしれないけど、それが自分の結果です。2学期中間テストは後悔しないように勉強をしていきます。



夏休みの課題にはしっかり取り組み、きちんとできました。部活動にも参加し、縫いものに挑戦しました。家での手伝いもできました。おばあちゃんの家泊りに行ったり、友達が泊りに来たりして、楽しく交流できました。楽しかった夏休みが終わり、少し早く感じました。



部活が引退となり、今年の夏休みは週2日は、児童デイサービスセンターに行き、それ以外は一人で留守番をしていました。留守番の時は、電話に出たり、時間を決めて宿題、自主勉をし、それが終わると、テレビを見たり、弟が帰ってくると弟の世話をしたりできました。

▶部活や勉強・手伝いを計画的にできた子、途中から部活動に全く顔を出さなくなってしまう子、休みを満喫しすぎて2学期早々連日缶詰状態で課題に挑戦せざるを得ない子、苦手な教科を中心に長い時間勉強に取り組めた子等、夏休みの取り組み方は様々ですが、2学期は悔いの残らないように頑張ろうという気持ちは一緒です。

今学期も職員24名、全力で応援します。

## 通学路危険箇所の整備が始まりました！



浄法寺方面から自転車通学する生徒が路肩の溝にタイヤが入り、ハンドルをとられて転倒した事案から、安全確保が急務であると訴えてきました。

早速、この夏休みから吉野区長会長さんや藤岡土木事務所・土地所有者のご協力により、改善が始まりました。

第一段階として、通学路に垂れ下がった枝の伐採、歩道の溝を埋める作業を行っていただきました。これなら安心して走行できます。

引き続き、歩道の溝を埋める作業を行っていただけのようです。

感謝申し上げます。

夏休み中



## 地震対策避難訓練が非常時に生きることを願って・・・ 9/2



本校では年間3回の避難訓練を実施しています。2回目の今回は、地震を想定したもので、この時期に毎年実施しています。

無言で素早く避難できた生徒に、2つの話（東北大震災時の釜石の中学生の行動、関東大震災・中越地震・阪神淡路大震災と避難訓練の意義）がありましたが、次に活かそうと真剣に聞く生徒の表情が印象的でした。

翌日、緊急に避難を要する出来事がありましたが、一部の生徒は注意を受けてしまいました。訓練が非常時に生きないことが分かりましたので、さらに意識を高める工夫をしていきます。

## 職場体験(第2学年)では大変お世話になります！ 9/7～

37名が16事業所にお世話になり、仕事の大変さ・やりがいを体験から学んでいます。見学させていただいた2事業所では、5名の生徒が真剣に働いていて、事業所の方からも高い評価を受けていました。家族の皆さんにも是非見ていただきたい姿です。



